

新潟市しろね大凧と歴史の館指定管理者申請者評価会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年10月12日（木）午後1時30分から午後4時15分
- 2 会場 南区役所 4階 講堂
- 3 出席者 評価会議委員（五十音順）
中村 里那（新潟市歴史博物館みなとぴあ 学芸員）
南雲 友美（にいがた観光カリスマ）
藤島 茂樹（白根凧合戦協会 会長）
渡邊 日奈子（税理士法人新潟合同事務所 税理士）
事務局 南区地域総務課長、同課課長補佐、同課広報・文化スポーツグループ
職員2名
- 4 傍聴者 1名
- 5 要旨
 - (1) 開会
南区地域総務課長 あいさつ
 - (2) 事務局説明
評価会議の流れと評価の方法について
 - (3) 申請者によるプレゼンテーション（省略）と質疑応答
申請者A
《プレゼンテーション》（省略）
《質疑応答》
（南雲委員）
新規顧客の開拓として、外国人観光客の誘致は今後どのように行っていく予定か。
また、リピーターの獲得について工夫はあるか。
（申請者）
我が社のグループ会社が旅行雑誌に掲載されたのがきっかけで、台湾からのツアー客が増加した。今後も旅行会社に働きかけをしていきたい。リピーターについては、一度来て終わりにならないよう、定期的に特別展示を行い、毎回来た時に展示が変わるようにして、リピーターの確保につなげている。リピーターを増やすため、まずは新規の人に一度来てもらえるよう、不定期ではあるが事業を行い施設の周知をしていきたい。

(渡邊委員)

ロボット掃除機の導入でコスト削減をするとのことだが、どのあたりの経費がどのくらい下がるのか。

(申請者)

収支計画書だと管理費の部分になる。清掃や設備の一部は再委託しているが、清掃部分は半分ほどの金額になる。年間で100万円程度経費が削減できる予定である。

(渡邊委員)

来館者の増加のために、SNSの活用方法として考えていることを具体的に教えてほしい。

(申請者)

ホームページ、フェイスブックを現時点で活用している。ホームページは見ようと思わないと見ないし、フェイスブックは不特定多数の場合は拡散性が弱いツールだと思う。X（旧ツイッター）やインスタグラムも考え、当館の特性上、大風を見せるというのが強みだと思っている。文章としてのXよりも、見せるということではインスタグラムが当館にはあっている。フェイスブックとインスタグラムを連携させて、イベント等の告知を拡散したいと考えている。

(渡邊委員)

人員は4人を予定して、一日の業務を2人で行う日もあるようだが、人員的に4人で問題なく業務を行えるのか。

(申請者)

現状の利用状況を見て、可能であると判断した。団体客が多い場合には事前の予約があるため、利用客が多い場合には人員を増やして対応する。

(中村委員)

通行人がいるとロボット掃除機は止まるとのことだが、開館時間も稼働させるのか。

(申請者)

現時点ではそのように考えている。

(中村委員)

子どもがいるときは危ないと思うが。

(申請者)

清掃パターンや清掃時間について細かくプログラムをすることが可能であり、問題ないと思うが、保育園等の団体客が来た場合は使用を控える。また、来館者がいない場所を優先的に掃除するなど、安全面を第一に考え使用する予定である。

(中村委員)

展示資料に対しても、安全性を確保して清掃することが可能なのか。

(申請者)

床の清掃を中心に行うため展示物を傷つけず清掃することが可能である。また、階段等段差がある箇所の清掃はできないため、人の手で清掃をする必要がある。

(中村委員)

職員に向け、資料保存に関しての研修は行う予定はないのか。

(申請者)

していない。今後の課題にしていきたいと思う。

(渡邊委員)

自主義業の収入について、販売手数料売り上げの内容は何か。

(申請者)

売店で凧絵師が描いた凧を販売している。委託販売のため手数料だけが収入となり、残りは凧絵師の利益になるため収入は大きくない。ミニ凧制作のキット販売が主な収入となっている。

(渡邊委員)

凧は館内だけで販売しているのか。

(申請者)

はい。

(藤島委員)

地元の凧組や、凧合戦協会と一緒に取り組むような活動を行う予定はあるのか。

(申請者)

凧が好きで 25 歳以下の若者を集めて活動している。また、「凧とぴあ」という凧作りを経験し現役を退いた人で構成するボランティア団体と協力をしている。現在の活動が発展していけば、凧合戦協会と活動をするかもしれない。

(南雲委員)

今の話が、U(アンダー)25 ということで、今年からの事業のようですが。

(申請者)

今回は、講師はいないため独学で作った作品の展示をしている。本格的な若手の人材育成のために、来年からは事業化をして講座の開設を考えている。

(南雲委員)

インスタグラムについて、いつから使用をするつもりか。アカウントはあるが投稿がないようだ。また具体的な目標値はあるのか。

(申請者)

現在投稿を始めている。具体的な目標値を決めて活用しようと思う。

(司会)

以上で、「申請者A」のプレゼンテーション・ヒアリングを終了します。ありがとうございました。

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

《プレゼンテーション》(省略)

《質疑応答》

(渡邊委員)

令和6年度だけ、収支計算書の修繕費が120万円ほど高くなっているが、その根拠は何か。

(申請者)

現地見学会で建物が老朽化しているという話もあり、初年度に必要な修繕を全て終わらせることを想定して予算をつけたため、他の年度に比べ高くなっている。予防保全という考えからも早めに修繕を行おうと考えている。

(中村委員)

事業計画の中に入っている他市町村で開催した謎解きイベントでは、どのくらいの参加者がいたのか。

(申請者)

半年で約 1,000 人が参加した。毎年好評で要望があれば期間を延長することもある。

(中村委員)

地元の人と観光客との割合はどれくらいか。

(申請者)

県内よりも県外からのイベント参加者が多く、イベントを機に観光地に訪れた人が多い印象であった。

(中村委員)

イベントの実績があるようだが、今後、しろね大凧と歴史の館で開催する場合、施設の職員ではなく、イベント経験があるスタッフがイベントを運営するのか。

(申請者)

施設の職員含め、営業所や支店でも協力する。近隣の施設と協力し、南区として盛り上げていくイベントを開催したいと思う。

(渡邊委員)

謎解きイベントや映像作成など初年度から開始する事業が多く、予算の負担が大きいのではないか。予算内で行えるのか。

(申請者)

はい。ボランティアを含め、西蒲区にも現場があり、近隣のスタッフとも協力して会社全体で参加していきたいと思う。

(南雲委員)

映像やドキュメント映像の作成は毎年行う予定だが、機材や編集のことや、凧合戦だと一発撮りになると思うが問題なく行えるのか。また月に一度お便りを作成することだが、紙媒体だと手間と予算がかかりそうだ。キャラクターグッズの作成も考えているようだが、売れないと経費がかかるだけになる。実現可能かどうか、期日、人材のことについて教えてほしい。ドキュメント映像の編集など実績はあるのか。

(申請者)

ドキュメント映像の作成実績はないが、ホームページの紹介ビデオの作成を委託する業者に依頼する予定である。他県の施設で PR 動画を作成した実績があり、今回は市内の業者に依頼をする。凧合戦の映像作成は、委託予定の業者に見積もりをもらっているため実施可能。キャラクターグッズでは、作成経験があり機材はそろっているためすぐに作成可能であるが、まず

はキャラクターの周知を先に行っていきたい。

(南雲委員)

他市町村で指定管理業務の経験があるようだが、リピーターの獲得、新規顧客、外国人観光客の誘致などについて他施設の経験から活かせることを教えてほしい

(申請者)

現在管理している施設では毎月イベントを開催し、多い時は月に2、3回することもある。コロナ禍が落ち着き県外の観光客が増え、施設の魅力として自主事業は欠かせないものだと思う。新規顧客獲得のためにイベント回数を増やし、魅力あるものを提供し続け、定着化しない施設を作りあげていきたい。

(南雲委員)

オンラインイベントについて視聴回数ほどのくらいか。現地の訪問につながることはあるのか。

(申請者)

オンラインイベントはJTBと協力して行っている。弊社では現在全国2,000か所以上の放課後児童クラブの運営をしており、JTBのツアーをZOOMで映し、放課後児童クラブで視聴をしている。水族館や動物園などの一般開放していない場所を見ることができ、リアルタイムや録画でも視聴可能である。子どもたちの学びにもなり、現地に行くきっかけ作りにもなっている。しろね大凧と歴史の館では、館内を案内して凧づくりを一緒にすることで集客につながれるのではと思う。過去に開催した施設では集客につながっている実績があるため、今回提案をした。

(司会)

以上で、「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」のプレゼンテーション・ヒアリングを終了します。ありがとうございました。